

第3回懇談会の主な意見等

●改築基本方針について

1. SDGs（持続可能な開発目標）で廃棄まで考えた建物という視点があると良い。

●標準建物面積について

1. 改築して校舎が新しくなると生徒が増える傾向があるので、そういう視点も見込んで欲しい。
2. 現在学校希望制はないが、過去の改築した中学校では生徒が増えて普通教室が足りなくなり、特別教室を転用することがあり、また、その影響で少人数授業ができなくなった。通常学級数だけでボリュームを考えると、必要な時間割が組めなくなるので、その点も考慮して欲しい。
3. 現在の校舎の図書室では、12学級規模で必要とされる蔵書数（※）が収まらないので、その点も考慮して欲しい。

※文部科学省の学校図書館図書標準より、12学級の場合は10,720冊

●校舎配置について

〈校庭について〉

1. 校庭が北側配置（C）の場合は、水はけや冬に凍結する場合などを考えて、人工芝などの対応を考えないといけないと思う。
2. 旧校舎が東側にあった当時、校庭が冬場は日影で水はけが悪かった。
3. 校庭の日当たりがいいのはいいことだが、暑い時期に全く日影がないのも問題があると思うので、工夫が必要だと思う。
4. 校庭にただ150mのトラックが取ればいいのではなく、運動会なども考えて、トラックの周辺に余裕が必要。
5. 直線トラックは50mで記載されているが、中学生なので、80m程度取れると良いと思う。

〈教室配置について〉

1. 教室は生徒が長く過ごす場所なので、校庭が南側配置（A）だと、日が明るく、南北に自然の風が流れて良いと思う。
2. 校庭が南側配置（A）だと、日当たりや教室からの眺めも良いと思う。
3. 近年では教室が南側に面していない事例もあり、必ずしも南側に面しているのが採光や通風で一番良いわけではないので、それぞれの配置でどういう採光や通風ができるかが分かったら良い。
4. 校舎が早稲田通りに近いと授業中の音や排気ガスの問題が生じると思う。
5. 教室からグラウンドが見られて、活動している様子が見られるのが良いと思う。

〈周辺環境について〉

1. 校庭が北側（C）・西側配置（D）だと北側の住宅の日当たりが良くなると思う。
2. 校庭が南側配置（A）でも、現在の4階建てより低くなるのであれば、北側の住宅への日影の影響は軽減されると思う。
3. 校庭が南側配置（A）だと校舎によって北側の住宅への校庭の音や砂埃の影響が軽減されると思う。

〈仮設校舎について〉

1. 仮設校舎を設置する場合の工事期間、工事費用を考えると仮設校舎がいない計画がよいと思う。
2. 仮設校舎を建てる場合にいろいろと課題が出てくるだろうから、仮設校舎を建てずに工事ができるとよいと思う。
3. 80年先までの生徒や近隣のことを考えて、改築期間中は多少の我慢は必要だと思う。

〈高射砲台跡地について〉

1. 高射砲台跡地を残すことを考えた場合に、校庭が南側（A）・東側配置（B）の方が、運動会の保護者のギャラリーや生徒の活動スペースとして活用できると思う。
2. 校庭が北側（C）・西側配置（D）の場合は、高射砲台跡地が校舎に隠れるので、活用の仕方を考える必要がある。
3. 高射砲台跡地と校庭の高低差があるので、校庭が北側配置（C）・西側配置（D）の場合は、東側道路から建物が下がっている状態になり、1階の日当たりを考える必要があると思う。

〈その他〉

1. 中瀬中学校のビオトープは全国で賞を取っているので、ビオトープに配慮して欲しい。
2. 体育館は授業以外にも、学校行事や全校朝礼、学年集会を行うので、松溪中学校のような通りがかりにでも様子が分かるような配置が良いと思う。
3. 校舎の配置が既存に近いと、卒業生にとって面影が残ると思う。
4. 校庭が南側配置（A）の場合に、西側の擁壁があるところを道路まで建物を下げると、アクセス面でよくなり、校舎のボリュームを押さえて校庭も少し広がると思う。
5. 配置の検討にあたっては、災害時の避難者の導線などの災害時の対応や学校開放の導線や開放範囲も考える必要がある。
6. 一覧表でそれぞれの配置のメリット・デメリットを比較しやすくすると良い。
7. パースで北側や早稲田通り側など、いろいろな視点から校舎がどう見えるのかを出すと、分かりやすいと思う。